

第 42 回日本顎関節学会学術講演会 「咬合、顎位の変化と顎関節 —下顎頭吸収と変形性顎関節症を中心に—」

島田 淳 Atsushi Shimada

東京都・グリーンデンタルクリニック

2017 年 10 月 8 日（日）、大阪歯科大学創立 100 周年記念館 4 階大会議室において、標記講演会が行われた。

2016 年および 2017 年の日本顎関節学会学術大会におけるシンポジウム「変形性顎関節症への取り組み—小児から高齢者まで—」「特発性下顎頭吸収を含む開咬の診断と治療」の総括として、シンポジウムが合わせても 3 時間であったところを、内容を深く掘り下げ 10:00 開始、途中昼食を挟んでディスカッションを含み 16:15 まで、5 時間 15 分にわたり、みっちり勉強しようという企画である。

当日は朝から、100 名ほどの受講者が集まり、この演題に対する興味の深さがうかがえた。

講演は学術委員長の小見山 道先生が挨拶を行った後、最初の演者として、咬合の問題が顎関節の病態の結果として起こる可能性と、可逆性、不可逆性の病態が存在することから咬合については慎重な対応が必要であると、症例を交え解説いただいた。次に放射

線科の五十嵐千浪先生から、下顎頭骨変化は erosion が初期兆候で非復位性の関節円板障害が発症に関与している可能性があること、適切な時期に適切な画像検査を実施することの重要性についてお話しいただいた。

昼食を挟んで、補綴科の窪木拓男先生より、咬合の変化への対応のポイントとして、吸収による咬合変化停止の確認の仕方、その後の咬合治療を行う基準と、アプローチの仕方について症例を交え講演いただいた。次に矯正科の田中栄二先生から、若年歯科矯正患者を対象とした下顎頭吸収について、危険因子として、顎関節円板障害、矯正治療経験、顔面外傷の既往、下顎骨の時計回りの回転を伴う開咬が挙げられること、矯正治療を行う場合の開始時期として患者の成長終了と CT 画像における下顎頭皮質の連続性の回復を判断材料とするのをいただいた。

最後に口腔外科の高橋 哲先生より、下顎頭吸収について生物学的特徴と診断について解説いただいた後、咬

合の変化が収まった後で、補綴、矯正治療のみでは咬合が回復できない症例についての外科手術について症例を交え解説いただいた。まとめとしては、下顎頭吸収の原因については、年齢、基礎疾患、女性ホルモンや、下顎頭にかかる異常な圧迫、牽引力などのメカニカルストレス等が挙げられているが、吸収の発生、進行を止める決定的治療法はなく、咬合の変化に対応するには、吸収が止まったことの確認が重要であり、そのときの患者の咀嚼自由度により、どのような治療を行うかを慎重に検討する必要があるとのことであった。

日本顎関節学会の特徴として、今回のように多くの科から広い視野でのディスカッションができることが挙げられる。今回は 2018 年 2 月 11 日（日）に日本大学歯学部（東京）において「顎関節症治療に必要な心身医学・精神医学の知識アップデート」が開催される。会員外でも参加可能であるので、ぜひ参加されることをお勧めする。

第 42 回一般社団法人日本顎関節学会学術講演会 「咬合、顎位の変化と顎関節—下顎頭吸収と変形性顎関節症を中心に—」

- パート 1 「顎関節に関連する病態と下顎位、咬合の関係」
講師：小見山 道先生（日本大学松戸歯学部）
- パート 2 「顎関節の解剖と画像診断による下顎頭吸収」
講師：五十嵐千浪先生（鶴見大学歯学部）
- パート 3 「下顎頭吸収への補綴歯科的対応」
講師：窪木拓男先生（岡山大学大学院）
- パート 4 「下顎頭吸収への矯正歯科的対応」
講師：田中栄二先生（徳島大学大学院）
- パート 5 「特発性下顎頭吸収への外科的対応」
講師：高橋 哲先生（東北大学大学院）

第 43 回一般社団法人日本顎関節学会学術講演会 「顎関節症治療に必要な心身医学・精神医学の知識アップデート」 2018 年 2 月 11 日（日） 日本大学歯学部（東京） 10:00~16:15

- パート 1 なぜ歯科医師に精神科の知識が必要か？
講師：宮地 英雄（北里大学精神神経科）
- パート 2 顎関節症に併存する精神疾患と DC/TMD の II 軸
講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部）
- パート 3 顎関節症患者の心身医学的対応—開業医の立場から
講師：島田 淳（グリーンデンタルクリニック・神奈川歯科大学）
- パート 4 顎関節症患者と咬合違和感患者の心身医学的対応—大学病院の立場から
講師：玉置 勝司（神奈川歯科大学）
- パート 5 “いわゆる歯科心身症患者” にどう対応するか—リエゾン診療の立場から
講師：和氣 裕之（みどり小児歯科・日本大学松戸歯学部）

詳しくは日本顎関節学会 HP に記載